

輸血部ニュース

広島大学医学部附属病院輸血部 発行:高田 昇

編集:藤井輝久

No.21 2000年1月16日 TEL: 082-257-5580-5582 内線:2940-2942

FAX: 082-257-5584

輸血部からのお願い(特に血小板製剤の使用について)

現在、献血人口の低下による慢性的な輸血製剤の供給不足が起っています。特に血小板製剤(PC)の不足は深刻です。輸血製剤を有効に使用するためにも、以下のことを周知、徹底して頂きたいと思えます。

1.ガイドラインの徹底を!

以前より、感染症の伝播、GVHD 発生の可能性等を理由に輸血部では「輸血をなるべくしない。」ことを各臨床科に呼びかけています。

輸血の際には、1999年6月に厚生省から出された、「血液製剤の使用指針及び輸血療法の実施に関する指針」(ガイドライン)にのっとり行うことが原則です。しかし現在本院の輸血は、これを知らない、あるいは知ってても遵守しようとしないう一部の輸血施行医師のために、この指針とかけ離れ、「入れ過ぎ」ているのが現状です。

血液は臓器の1種です。輸血は広義の

臓器移植です。輸血に際してはそれに準ずるほどの注意が必要です。適応も考えず「念のため」や「予防で」輸血するものではありません。

症例によっては、ガイドラインに必ずしも当てはまらない場合もありますが、輸血を施行される医師は、是非一度ガイドライン(既に各臨床科に配布済み)をお読みになって頂きたいと思えます。

2.血小板製剤の型違い輸血について

血小板製剤(PC)は、下表1のように非常に高価です。また使用期限も72時間と短く、供給不足に陥りやすい輸血製剤です。大量出血の際に、PCがオーダーされたものの、結局使用しない場合が少なからず発生しています。その際輸血部は、血小板輸血の適応となる患者に使用して

表1:主な輸血製剤の価格(放射線未照射の場合)

常備血			特殊血		
MAP	1単位	5,444円	LPRC	1単位	7,411円
	2単位	10,888円		2単位	14,822円
FFP	1単位	5,199円	PC	5単位	36,190円
	2単位	10,398円		10単位	72,380円
	5単位	20,796円		15単位	108,570円
				20単位	144,760円

*白血球除去フィルター(MAP用(4単位まで) 4,680円、PC用(20単位まで) 5,800円)

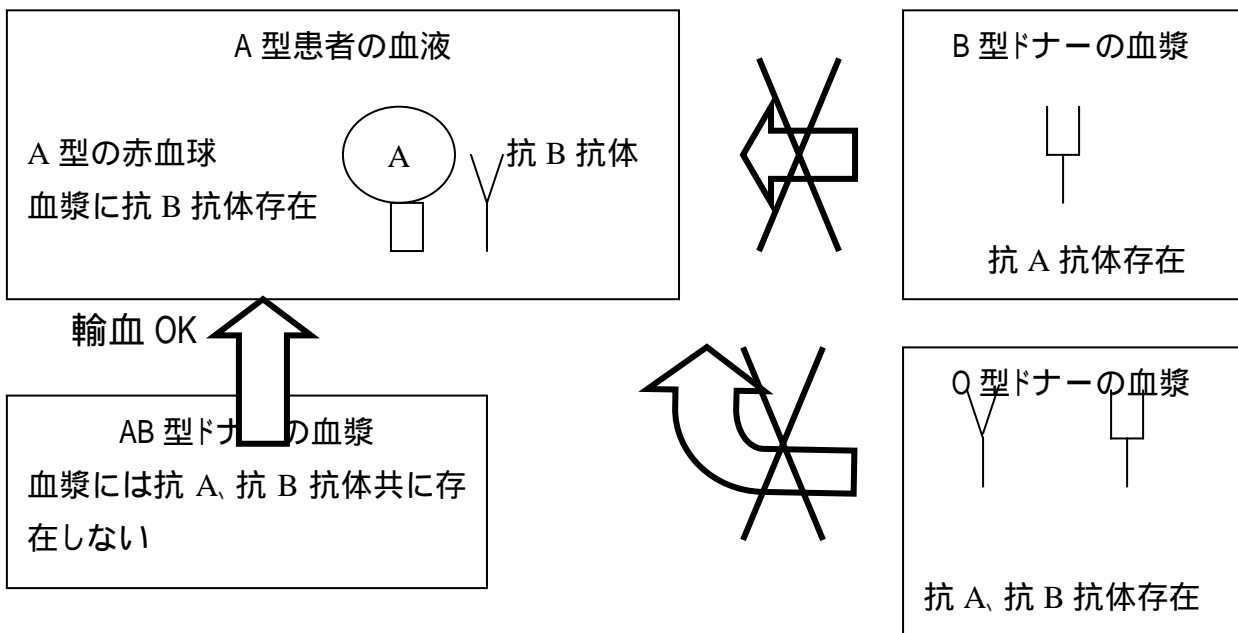
頂こうと、各臨床科にオーダー済みの血小板製剤の使用を勧めています。

しかしその際、医学的には問題ない型違いの輸血製剤の使用を拒否する医師がいらっしゃいます。

血小板製剤(FFP も同じ)の ABO 式型違い輸血に関しては、下図に示します通り医学的に全く問題なく、安全な型違い輸血が存在します。また Rh(+)の患者に Rh(・)の製剤の輸血は全く問題ありません。輸血部としては、輸血製剤の有効利用の立場からも、安全な型違いに関しては使用を勧めています。

「倫理的な問題はないのか?」「新聞沙汰になっている。」とご懸念をお持ちの先生方もいらっしゃるかも知れません。本院には輸血部療法委員会が未設置ですので、最終結論はその委員会で討議される問題かも知れません。現状では、患者に医学的な問題は全くないことを説明し、同意を得られれば、PC、FFP の型違いの輸血も是としているのが輸血部の見解です。

図 1: ABO 式型違いの輸血に関する考え方



同様に考えると、AB型 PC、FFP は ABO 式血液型全型に輸血することができるが、O型 PC、FFP は同じ O 型の患者にしか輸血できない。

血漿の大部分を排除した洗浄血小板であれば、ABO 式血液型全ての型違いでも輸血することができる。

質問その他ご意見は輸血部まで
内線 2940 または 2945

